

## 「がん治療認定医」と「がん薬物療法専門医」の違いは？

「がん薬物療法専門医」は日本臨床腫瘍学会の認定する専門医資格で、「がん治療認定医」は癌学会、癌治療学会、臨床腫瘍学会、全がん協の4団体が中心となって設立した日本がん治療認定医機構が認定する認定医になります。

\*「がん治療認定医」は外科治療、薬物療法、放射線療法など各々の専門領域において、指導医・専門医との連携のもとに標準的治療の継続に協力できる医師に与えられる認定であるのに対して、「がん薬物療法専門医」は、がんの化学療法、分子標的療法、内分泌療法などの薬物療法の専門医で、基礎的な知識と技術を持つことはもちろん、十分な薬物療法の経験と各がん種のバイオロジー(生物学)の理解、標準的な薬物療法や緩和医療を含む支持療法の実践のみならず、先端的な臨床開発研究についても詳細な説明責任が果たせ、完遂できることが求められたレベルの資格です。

あえて、「がん薬物療法専門医」と「がん治療認定医」との違いを明確に説明するなら「がん薬物療法専門医」は責任をもってがん薬物療法が実践できる医師であり、「がん治療認定医」はがん診療の基本を学んだ医師、これから専門医になろうとする医師になります。

\*引用元：愛知県がんセンターHP「Q2 「がん薬物療法専門医」と「がん治療認定医」の違いはありますか？」

[「https://www.pref.aichi.jp/cancer-center/hosp/12knowledge/yakubutsu\\_senmon.html」](https://www.pref.aichi.jp/cancer-center/hosp/12knowledge/yakubutsu_senmon.html)